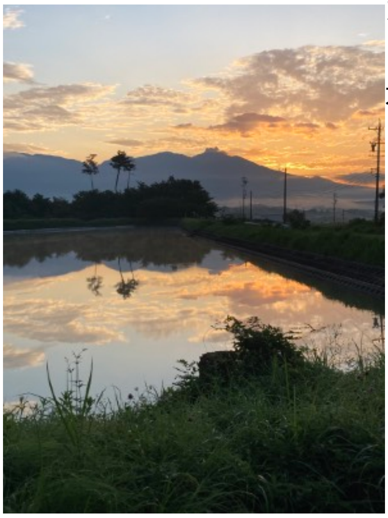
2022ワークキャンプ　7　07/29-30 薪運搬　雨水貯水システム運用　テーブル塗装
キャビンB整理　ホール清掃

２９日（金）３時５０分松田発・山中湖(4:40 19℃)・河口湖(5:10)・須玉(6:20)・野辺山(6:40 18℃）・佐久南IC(7:30)・尾方宅(8:10)

今日は何時も手伝っていただいている尾方さんのお手伝いで、東御の別荘へ来ました。途中の夜明け前の富士山（忍野から）、夏山の八ヶ岳がとても綺麗です。作業は冬の間に炊く、薪ストーブの燃料を調達することです。近くと言っても田舎のことですから、１５㎞ぐらい離れている、「与志本プレカットセンター」から建築材料の端材（薪）を仕入れて運搬する作業です。だいたい一冬に４パレット（１パレット５００kgぐらい）それを軽トラックで運んで、庭に積み上げます。午前中に２回、午後に３回（最後はおまけの端材・無料）を運んでは庭に放り投げて、山積みします。寒くなるまでにはきれいに積み上げておきます。天気が良すぎて、炎天下の作業でしたが１６時には作業終了、近くの「権現の湯」で汗を流して、露天風呂に入っていると、西の空に雷雲１０分ほどすると大粒の雨と雷が落ちてきたので、別荘に引き上げることにしました。大気が不安定で前日も激しい夕立がありました。別荘に帰る途中で激しく降られましたが、着いた時には雷雲は通り過ぎていて雨も上がっていました。

早々にビールで乾杯！尾方家の楽しみ、奥様の手料理でお酒が進みます。こんなに食べたら太りそうです、よく食べ、よく呑んで、よくしゃべりました。２３時に就寝。翌日は４時３０分に起きて、ウオーキング５㎞、気温は１８℃ぐらいで汗もかきませんでした。尾方邸は田楽平という丘の上にあり東側には浅間山、南東に蓼科山・八ヶ岳ととても眺めの良い立地です。夜明けの浅間山には雲ではなく、噴煙も上がっていました。田楽池に映る浅間山や周囲の山を眺められる幸せな土地です。田舎と言っては怒られますが、歩いている人は誰もいません。こんなにきれいな景色が見られるのに、皆さん寝ているのですね。６０分ほどで尾方さんの別荘に帰って、今日は汗もかかなかったので顔だけ洗ってお茶をいただきました。奥様と景色の話などををして、７時には山荘に向かって出発しました。山荘までは約４０㎞、一時間ぐらいかかります。昨日と同様に不安定で雲が多い空です。雨水がタンクに貯まっているか？楽しみ



山荘に到着して、荷物を降ろしてから早速、ローリータンクに水がたまっているか確認しました。予想通り、満タンです。ドレンコック（排水用）を開けて、水質を確認してみました。透明できれいな水です。尾方さんが到着したら、ポンプを稼働させて宅内の水道とトイレに水が供給で

きるか確認します。天候は回復して夏空が広がってきました。

尾方さんが到着したので、ポンプの稼働作業と、水道管の漏れなどを確認しました。水栓が一つ壊れていて水が出ませんでした。それを交換して水の開通テストをしたところ、雨水タンクからポンプを通って圧力をかけられた雨水は勢いよく流れ出しました。

雨水利用計画完成し成功しました。２０１８年に沢水を自然流下でキャンプ場まで引くことが出来ましたが、２０１９年の台風で沢が倒壊して、濾過装置やホースもバラバラに破壊されました。借地していた水源地を林野庁に返還してから、方針転換して雨水を利用する計画を立案してやっと成功にしたのです、　うれしい！これで、生活用水は５００L確保で

きました。

次はログハウスに同じ装置を設置します。１０時ごろに宇津木氏が便器を届けに来てくれました。約束では昨年１２月に持って来てくれる予定でしたが、半導体不足で新しい製品が届かず、半年遅れになってしまいました。コロナ感染で作業員が足りなくなり午後から仕事なのでそぐに帰って行きました。

あとの作業はトイレの換気装置、テーブル塗装とホールへの運搬、ホールの清掃、棚の移動などです。一つ一つ順調に作業を進めて１３時には作業終了。昼食は簡単にパスタアラビアータ

これで。８月４日からキャンプに来るBS東京港５団の受入準備も完了しました。安心して松田に帰れます。

秋には理事の皆さまに全員集合していただきたいと考えています。